

ソフトウェア信頼性研究会 第11回ワークショップ

日時：2015年11月14日（土）～15日（日）

場所：三朝温泉 齊木別館 会議室

〒682-0122 鳥取県東伯郡三朝町山田 70

プログラム

11/14(土)

13:30 受付

14:00-15:00 基調講演

「メトリクス研究の一展開：人に依存するファクタの影響について」

阿萬裕久（愛媛大）

15:15-16:15 学生セッション(1)

1. UML 設計のモデル検査における検証コスト削減の試み

笠原大和, 横川智教, 佐藤洋一郎, 有本和民（岡山県立大）

2. Word2Vec を利用したバグ報告に対する修正対象推薦手法（仮題）

采野友紀也, 水野修（京都工繊大）

16:30-18:00 一般セッション(1)

1. ソースコードメトリクスと不具合の関係に関する分析

小笠原秀人（東芝）

2. 他組織で収集されたデータを用いた予測・見積もりについて

天寄聡介（岡山県立大）

3. ソフトウェアの変化と信頼性

岸田孝一（SRA）

11/15(日)

9:30-10:30 学生セッション(2)

1. 工数予測ツール e³ の実用性評価と機能拡張（仮題）

古田雄基, 肥後芳樹, 楠本真二（阪大）

2. 開発者の違いを考慮したコメント記述量の評価とバグ予測への応用

中野貴史, 阿萬裕久（愛媛大）

10:45-11:45 一般セッション(2)

1. IT プロジェクトベンチマーキングの国際規格 ISO/IEC 29155 シリーズの概要

高橋光裕（電力中央研究所）

2. enPiT「分野・地域を越えた実践的情報教育協働ネットワーク」におけるファシリテーションスキル授業の実践報告（実施・評価・効果）

毛利幸雄（九大）

11:45-12:00 クロージング